令和8年度 2学期始業式 20260901

〇令和8年度2学期が始まる。
・3年生は進路を決める大事な時期へ
・2年生は部活動、学校の中心へ。修学旅行もある。
・1年生は学校に慣れ、いよいよ自ら一番やりたいことがわかってくるころ。
・それぞれの一番一生懸命やりたいことに、向き合ってほしい。

〇2学期始業式にあたり、2つ話をしておきたい。
1つ目。
・7月28日熊本県（宇城市、八代郡氷川町）で最大震度7を観測する地震が発生した。また、8月13日から14日にかけて千葉県中心に関東地方に集中豪雨があり、千葉県で河川の氾濫、冠水する道路など都市型の洪水被害があった。その後も石川県で27日に、福井県で29日に、大雨による河川の氾濫が相次いでいる。皆さんの中に、直接被害を受けられた関係者がおられたら、心からお悔やみ申し上げたい。
・熊本地震に関しては、10年前の同規模の地震による復興の途中であっただろうから、言葉を失う。2016年の熊本地震について、熊本地震震災ミュージアム「記憶の回廊」というホームページが開設されているが、そのコンセプト「地震を乗り越え、地震と共に生きる」「2千年先の人々へ、この経験を伝える」に、胸が苦しくなる。今は、被害を受けられた皆さんの1日も早い安心できる日が来ることをお祈りしたい。
・私は、このような震災や自然災害が発生するたびに、思いは馳せるのはもちろんであるが、その地をできる限り訪れることにしている。震災に関する展示等を見ると、人の強さ、コミュニティの大切さを感じることができる。どんな土地にも、その土地に人が住み、私たちと同じように悩みながら、楽しみながら、一生懸命生活している。
それを感じるだけでも意味があると思うし、自分を見返し、想像力を持って生活してほしい。

2つ目。
・大変感動した本にも出会った。『希望のつくり方』（著玄田有史 岩波新書）である（実物で、紹介する）。新書を読んで、何度か泣けたのは、これが初めてあったかもしれない。
・まずは、希望とは何かである。希望には4つの柱から成り立っているという。
希望の1つ目は、ウィッシュ（WISH）である。「気持ち」とか「思い」とかである。気持ちで勝つか、負けるか、などという時の気持ちである。「したい」ということ。
希望の2つ目は、あなたたちにとって大切な何か。サムシング（SOMETHING）である。将来こうありたい。こうあってほしい。世界が平和になってほしいなどという何かをいう場合
希望の3つ目は、実現すること。カムトゥルー（COME TRUE）である。夢が実現するなどということ。どんな段取りを取ると良いのか、どんな学習をすると良いのかなどということ。
希望の4つ目は、行動すること。アクション（ACTION）である。目標を立てて、作戦を立てて、それに向けて、不安や苦しいことがあっても行動していくこと。
・いくつも紹介したいことはあるが、勉強する意味を話している部分がある。玄田氏は、希望について語りながら、「勉強っていうのは、いろいろなことが、わかるようになるっていうこともある

けど、本当をいえば、わからないことだらけだよね。でも、勉強っていうのは、わからないということに慣れる練習をしているんだ」というくだりがあり、希望学から学んだのは、「わからない」ことから逃げないことだという。

・これから、２学期が始まる。それぞれのやりたいことに向かっていくためには、うまくいかないことも多くある。勉強では、わからないことだらけかもしれない。
それでも、みなさん自身が、何を実現したいのか、希望を持って２学期を過ごしてほしい。
・熊本で震災にあいながらも、「地震を乗り越え、地震と共に生きる」「２千年先の人々へ、この経験を伝える」という希望を持って立ち向かっている人たちがいる。
私たちも、強い希望を持って頑張って過ごしてほしい。

（最後に）
〇まだまだ、酷暑が続くそうだ。熱中症にならないよう、健康注意。

〇自転車のヘルメットは校則で着用です。保護者を悲しませることのないように。

令和８年度第２学期始業式の校長訓話とする。